

公益社団法人
MED 地域医療振興協会 湯沢町保健医療センター

センターだより

5 月号



“やさしさに 言葉の温度で めくもい添えて”

〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢 2877-1

TEL (病院) 186-025-780-6543 (歯科) 186-025-780-6544

URL: <http://www.yuzawamed.jp> Mail: center@yuzawamed.jp

QR コード



お知らせ

- 5 月より毎週火曜日の眼科医師は笹野紘之 (ささのひろゆき) 医師から加藤能利子 (かとうのりこ) 医師 (東京慈恵医科大学病院) に変更となります。
- 5 月 18 日 (土) ~ 22 日 (水)、CT 機器装置入れ替えのため、CT 検査ができません。検査が必要な場合は他医療機関を紹介させていただきますので、あらかじめご了承ください。

今月の休診のお知らせ

診療科	日 (時間)	曜	医 師
地域家庭診療部 (予約なし)	8 日	水	西 谷⇒代わりの医師が診察します
地域家庭診療部 (予約あり)	27 日	月	井 口
整形外科	9 日 (午後)	木	高 田
	24 日	金	川 口
歯 科	18 日	土	笠 原

今月の専門外来診察日のお知らせ



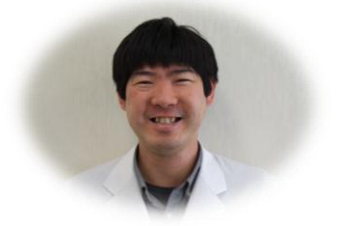
診療科	医 師	曜	診察日・その他
禁 煙 外 来	担当医師	火・金 (各午後)	完全予約制になります。 186-025-780-6543 で予約してください
コンタクト外来	窪田医師	木	16 日、30 日 (完全予約制: ☎025-780-6543)
小 児 科 (アレルギー)	中 島		<u>5 月の診療は休診となります。</u> 次回 6 月 7 日の予定です。
口 腔 外 科	戸 谷 (日本歯科大学病院医師)	水	8 日、15 日、29 日 歯科・口腔外科は予約制となります。 ☎025-780-6544 にお電話ください。

着任医師ご挨拶



はじめまして、4月より水曜外科外来を担当させていただきます、自治医科大学さいたま医療センター 一般・消化器外科の井本博文（いもと ひろふみ）と申します。湯沢は初めてなのですが、私自身東北大学出身で仙台での生活が長いもので、まだ雪も残る寒い北国というたたくまいに親しみを感じております。皆様とのふれあいを大切にして、湯沢の医療に少しでも貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

【自治医科大学附属さいたま医療センター 井本 博文】



はじめまして。中山総一郎（なかやまそういちろう）と申します。4月1日より湯沢町保健医療センターで研修をさせていただいております。元々は少し小児科をやっておりましたが総合診療に興味があったので地域医療振興協会の後期研修に参加させていただいております。湯沢の皆様や湯沢に訪問される皆様にお役にたてるように今は仕事を覚えさせていただいている最中です。至らない所も多々あるとは思いますが、よろしくお願ひ申し上げます。

【地域家庭診療部 中山 総一郎】

離任医師ご挨拶

火曜日の眼科外来を担当させて頂いていましたが、4月をもって離任する事になりました。約1年と短い間の勤務になり、患者様には色々ご不便をおかけして申し訳ありません。スタッフの皆様には、大変お世話になり感謝致しております。湯沢町保健医療センターの益々のご発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

【東京慈恵医科大学 眼科学教室 笹野 紘之】

※5月から火曜眼科は加藤医師（東京慈恵医科大学病院）が担当になります。ご挨拶は6月号を予定しております。

研修医師ご挨拶



始めまして、市立奈良病院研修医2年目呉海亜津佐（くれみあずさ）です。大阪生まれの大阪育ちです。好きなことは食べる事、趣味は登山やジョギング、スノーボード、水泳等です。人と話す事が好きで、奈良では本当に充実した研修医生活を送っています。今回地域研修は2回目ですが、前回、岐阜県の揖斐川地区でも非常に有意義な経験を積む事ができました。今回また新しい土地での地域研修に楽しみな気持ちでドキドキしています。のんびりマイペースな性格で、ご迷惑も沢山お掛けする事もあるとは思いますが、一ヶ月間よろしくお願ひします。

【市立奈良病院 呉海 亜津佐】

看護部の部屋



皆さんこんにちは。湯沢もやっと春らしくなってきましたね。月日の経つのは早いもので、私が当センターに入職してからこの5月で10年が経ちました。10年経ったと言う事は・・・年齢も10歳増えたという事になります（笑）。いつまでも若い気持ちでいましたが、最近は薬の数字が見えづらく、ルーペを使い始め、若いスタッフの眼を借りながら日々苦戦しています。この冬には側溝に落ちて肋骨骨折したり、つくづく歳には勝てないな～と実感しました。こんな私ですがこれからスタッフに助けていただきながら頑張っていきたいと思っています。これからもどうか末永くよろしくお願ひ致します。

【一般病棟 准看護師 なかむら 中村 かずえ 和枝】

ご意見箱より



○足が不自由ですのでこの場所に電話があると助かります。【未記入】※この場所＝1階正面入り口

⇒ご意見ありがとうございます。現在、院内には2台の公衆電話を設置しておりますが、近年、携帯電話の普及により利用者が少ない為、公衆電話会社より撤去したい旨のお話しを頂いており、今後増設または移動する事は改修費用も鑑みますと難しい状況となっております。総合受付でも電話をお貸しできますのでご遠慮なさらずお申し付けください。
【総務課長 林】

○トイレの手洗いの石鹸が出てきませんでした。使用できるようにしておいてください。【2月21日 女性】

⇒大変申し訳ございませんでした。清掃員または職員が常時確認し今後このような事のないように致します。またお気づきの点がございましたら、職員までお声掛けください。
【総務課長 林】

○現在、受付時間が16:30になっていますが、17:00まで延ばして下さるとありがたいのですが・・・。

【3月5日男性】

⇒受付時間についてのご意見をいただきありがとうございました。ご不便をおかけし申し訳ありません。当院の受付時間を30分伸ばす事は診察時間を30分伸ばす事になります。その為には、診察開始時間を全体に30分遅くし午前9:30からとするか、外来に関係する全スタッフの時間外労働を週あたり約2.5時間増やすかのどちらかになるかと思えます。前者の場合は当院をご利用の皆様、町民の皆様アンケート等で広くご意見を伺い、遅くする方が良いという事になれば検討させていただく事も考慮いたします。しかしながら、現状では“早く診て欲しい”と朝早い時間から来院される方も多く、難しいかと思えます。また後者は、労働基準法の時間外・休日労働協定を使用者と労働者の過半数を代表する者との間で締結し、労働基準監督署に届ける事が必要です。届ければ良いというものでもなく、本来、時間外労働・休日労働は必要最小限に留められるべきものです。また時間外労働が増える事は病院の件費の増加に繋がり、経営を圧迫する事にもなり、困難な状況です。ご理解頂ければ幸いです。なお年間を通じて祝休日以外の土曜日午前中には通常の診療をしております。また時間外や休日でも、病気やケガで急を要する場合には日当直医師が対応しておりますので、まずは病院までお電話ください。
【センター長 浅井】



第4回院内研究発表会が行われました



ようやく春がやってまいりまして、花々の咲く季節になりました。住民の皆様には、日頃より当院の活動にご理解ご協力をいただきまして、感謝申し上げます。さてこの度、4月20日に行われました「院内研究発表会」について少しご紹介させていただきます。もともとは、「看護研究発表会」という形で行っていましたが、病院全体の活動として開催すべきではないかという意見もあり、この会に至っております。会のテーマを「病院をよくするための活動」サブテーマ～部署間の業務理解や部署ごとの業務改善、病院全体の運営改善や院外学会へのステップアップにつなげる～として行っていました。今回の発表内容は、①胃カメラを受けていただく方へのパンフレットの工夫、そして改善後の検証、②胃レントゲン時の胃の動きを抑えるための工夫（注射ではなく）とその検証、③入院の患者様が自宅から持ってこられる薬剤についての評価そして今後の課題、④骨折後の患者様のリハビリについての症例検討、⑤県外施設の開設準備から開設までの支援活動報告、⑥検査方式の違いによるデータの検証とその影響について、等それぞれの部署から盛りだくさんの内容の発表がありました。そして、全てに共通することは、今後の業務にそして患者様にも役立って行くものと思えます。参加職員からも活発な意見・質問等があり、盛況のうちに終了いたしました。今後も引き続き、「病院をよくするための活動」として院内研究発表会を継続していきたいと思っております。最後に、利用者の皆様におかれましても、今回の発表にご協力いただきまして、感謝申し上げます。

【院内研究発表準備委員会 看護部長 吹田】

今月の話題

ヘリコバクター・ピロリ菌

湯沢町の雪も解け始め、桜の開花、ゴールデンウィークに突入、あっという間の春です。冬が終わり一段落という方もいれば、新しい環境で生活されている社会人の方々などは、まだ肩の力が抜けない…という状態かもしれません。

この時期は疲れが出やすい時期で胃腸の不調を感じて病院に受診される方もいれば、春の健康診断や、検診の二次検査目的に受診される方も増えてきます。診察時に必要と判断された場合には、上部内視鏡検査（胃カメラ検査）を受けていただく事も多いです。

この胃カメラ検査で分かる病気は色々あります。症状がある方の胃カメラ検査で見つかる事が多いのは、胃炎や胃・十二指腸潰瘍です。癌が見つかる事も時々あります。これら胃炎や潰瘍の原因には暴飲暴食、ストレス、お薬といったものもありますが、ヘリコバクター・ピロリという細菌の関与があります。このピロリ菌は日本人の半数以上が感染していると言われていています。現在の所、胃や十二指腸に炎症を起こし潰瘍を発生させたり胃癌の危険因子の一つと考えられています。胃潰瘍で 7～8 割、十二指腸潰瘍で 9 割の人にこのピロリ菌感染が認められます。ピロリ菌感染が検査（吐いた息や血液や尿、培養の検査など）でも証明された場合には除菌をしてもらいます。

この除菌が成功すると潰瘍再発率は 10%以下に抑えられます。除菌というのは胃酸分泌を抑える胃薬と抗生物質 2 種類を 1 週間、内服を行うものです。この治療法は、胃・十二指腸潰瘍や早期胃癌の胃カメラでの切除治療後や一部の血液疾患にしか医療保険適応がありませんでした。胃癌の発生率が高い日本では、その撲滅へ向け、予防策として発生リスクの一つとされるピロリ菌の除菌を進めようと今年 2 月からは胃カメラ検査で（慢性）胃炎と診断され、なおかつピロリ感染が証明された場合には、保険で除菌ができるようになりました。

このピロリ菌はたくましい面をもった菌でもありますが、もっと詳しく書くと紙面が足りないので今回はご紹介までです。ピロリ菌の除菌をしたとしても病気の発生がすべて抑えられる訳ではなく、やはり定期的な検査が必要です。

健康診断や癌検診は病気を見つける為と言うよりは、体が悲鳴をあげる前に定期的に自分の体に興味を持ち、向きあうという意味では良い機会なので、嫌がらずに受けましょう。

ちなみに、胃癌検診では X 線検査（バリウム検査）だけが、科学的に有効な検査であると証明されている方法です。早期の胃癌が発見される可能性が高く、治癒に繋がりがやすいと言われていています。

【副センター長 地域家庭診療部 医師 にしたに西谷 もとこ基子】

